

1面からのつづき

◇善行金章(二十名)

(敬称略)

(北海道) 阿部澄子、斎藤保子(青森県) 溝江茂則(岩手県) 鈴木時雄(宮城県) 長谷川太(栃木県) 松本カネ子(群馬県) 内田恵美子、為谷文夫、関文彦(埼玉県) 加藤千代子(千葉県) 合田祐二(神奈川県) 佐久間昭司(山梨県) 高野恒夫(福井県) 中嶋光子(京都府) 福原洋(大阪府) 藤本登代(兵庫県) 服部忠彦(福岡県) 白杵幸夫、坂寺昭(長崎県) 筒井泰昭

◇善行銀賞七十四名

(北海道) 千田一穂、寺田忠夫、津田美智子、野上則男、品田 忠(青森県) 鎌田一枝、大矢縷美子、小田桐忠志(岩手県) 鈴木博夫、信夫孝行、菊地次雄、加藤保典(宮城県) 佐藤三三子、佐藤孫次、上田 進(福島県) 橋本トモイ、佐藤啓子(茨城県) 吉田俊雄(栃木県) 森山公子、吉田イコ(群馬県) 有間行雄、河野純夫、山田元子、田鹿すみ子、佐藤滋子、尾花吉野、新保淑江、反町ななか子、関口順子、永井知子、根岸三亀男(千葉県) 斉藤好美、細谷菜穂子(東京都) 前田哲也、田口幸子

支部だより

宮城県支部

施設が設立 四十二周年記念日に 慰問活動を開催

宮城県支部が設立した時から実施してきた施設慰問活動を昨年度に続き仙台市の郊外にある特別養護老人ホーム「暁星園」にて、去る二月一日(木)午前十一時から三十分間、会員が所属しているハワイアンバンド「イズミハワイアンズ」メンバー九名の協力により開催しました。全曲懐メロを演奏し、ホールに集まった入所者とその家族、施設の役員と職員に善行会の役員七名が揃いのジャンパーを着用、総勢八十名程が演奏された曲を聴き、一曲一曲大拍手があり次の曲



暁星園 開設記念式典

へと、今回は特に施設が設立して四十二周年記念日にと依頼されたの実施でした。施設では、滅多に目に耳に触れることのないアロハ姿とスチールギターの音色で演奏された懐かしい曲ばかり、予め配られていた歌詞のプリントを見ながら唄が出て、という間に唄がなくなり、アンコールの連呼に続いて今回の慰問活動を終わりました。

兵庫県支部

平成二十九年度秋季 善行表彰伝達式と 新年交礼会の開催

秋季善行表彰伝達式を師走の十二月九日(土)午前十一時より兵庫県庁所在地の神戸市中央区の湊川神社内「楠公会館」に於いて開催しました。当日は県下各ブロックから五十数名の皆様の参加のもと、和やかな内にも緊張感ある伝達式でした。式は山本和子支部事務局長司会のもと、寺澤妙子副支部長の開会のことばで始まり、受賞者の紹介、服部忠彦支部長から表彰状、記念品等が一人ひとりに伝達されました。服部支部長の祝辞の後、本日来賓の川島隆司兵庫



県青少年補導センター連絡協議会長、松本たけあき衆議院議員、末松信介参議院議員から祝辞を頂きました。引き続き来賓紹介があり、受賞者代表、久保英志様から謝辞が述べられ、祝電及びメッセージの披露、閉会のことばを有野勇副支部長が行い、伝達式はめでたく無事終了となりました。

ふる里自慢

香川県支部

すてきな町善通寺



香川県内の市町には、それぞれにふる里自慢があります。今回は、善通寺市と四国霊場の旅を紹介いたします。当市は、「うどんと瀬戸大橋」で名高い香川県の北西部に位置し、人口約三万三千七百人、面積は約四十四km²、縄文時代後期からの歴史や文化に培われ、自然に恵まれた

町です。五岳山の麓には四百基を超える古墳が残され、中でも六基の讃岐古代史が鮮明になり重要な有岡古墳群として国の史跡に指定されています。弘法大師空海はこの地に誕生し、八百三十三年に建立した寺に父の名「佐伯善通」を寺号として名付け、そのまま村名となりました。古くから門前町として開け整然と区画された美しい町は四国の京都と例えられています。明治になると旧陸軍第十一師司令部が設置され乃木將軍の部屋は「乃木記念館」として一般開



放されています。兵器庫跡の赤レンガ棟、旧善通借行社、JR善通寺駅舎は優美な明治建築の雰囲気を与え、今も現役として市民らに利用されています。戦後は軍事都市から学園都市づくりを中核とした文化都市への再生を目指し、大学や官公署の誘致が進められ多機能都市が造られました。近年は、資源ごみリサイクル都市の先駆けの町として小学校の教科書でも紹介され、今も市民総ぐるみで取り組んでおります。



最後に総本山善通寺は紀州の高野山・京都東寺と並んで空海三大霊場の一つに数えられ、四国霊場第七十五番札所となつています。四国霊場八十八ヶ所は徳島県の霊山寺を第一番札所発心の道場、高知県修業、愛媛県の菩提、そして香川県涅槃の道場八十八番大窪寺の結願へと巡つております。四国遍路とは今から千二百年前にお大師さまが修業された足跡をたどつて四国の自然を肌で感じながら、八十八ヶ所の霊場を巡拝すること、白装束とすげ笠をつけ金剛杖を持ち全行程四百kmの道のりを「同行一人」

善行川柳

選者 東 逸平

○本年も 「明るいニュース」が 社会の灯
北海道 齊藤 勉
評／川柳にカギカッコや句読点は不要です。
《本年も 明るいニュース 社会の灯》とした方が良いでしょう。

○年度始め 楽しくやろう ボランティア
東京都 千歳 鈴
評／《年度始め》は固いから、《年始め》としましょうよ。

○ありがとう ちよつと照れてます

ボランティア
香川県 丸野 忠義
評／《ちよつと照れてます》は、会話体ですから
《ちよつと照れてる》としましょうよ。

総じて今回も作者ひとり幾つもの作句を寄せてきましたが、一句をもっと熟成してほしいと思います。単なる思いつきを、そのままにするのではなく、一句を練り直し練り直し、完成させることが大事ですよ。

お知らせ

▽平成三十年度
春季・特別善行
表彰式
〔日時〕
五月十九日(土)
十三時半～十五時半
〔場所〕
東京都渋谷区
明治神宮参集殿
▽定期総会
〔日時〕
六月二十九日(金)
十三時～十五時半
〔場所〕
東京都千代田区
東京国際フォーラム

お大師さまに見守られながらの二人旅。今は自己再生、自己発見、心の傷を癒す旅として国内のみならず外国からのお遍路さんも増えています。是非一度こんな素敵な地へお出かけを。